



# 『志』

～第2学年 学年通信 No.6～

令和7年6月20日（金）発行



運動会も終わり、期末考査が近づいてきました。これまでの学習の成果を発揮できるよう、各教科の試験範囲を確認し、計画的に準備を進めましょう。テスト当日は、焦らずに落ち着いて問題に取り組み、最後まで諦めずに実力を出し切ってください。皆さんの努力が実を結ぶよう願っています。1学期も残りわずかです。体調管理に気をつけて、終業式まで頑張りましょう！

## ■来週の予定

| 23日(月)    | 24日(火)               | 25日(水)                      | 26日(木)                      | 27日(金)                     |
|-----------|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| ①学：林間事前学習 | ⑥総：自己紹介カード<br>(写真撮影) | 期末考査<br>(①総②数③理④保体)<br>給食なし | 期末考査<br>(①総②英③技家④音)<br>給食なし | 期末考査<br>(①総②国③社④美)<br>避難訓練 |

## ■運動会の作文紹介

### 「みんなでつなぐ勝利のバトン」

二年二組

二年二組は今日の運動会で優勝することができた。とてもうれしかった。運動会には個人競技と団体競技があるが、二組は団体競技が強かった。まずリレーでは、本番は全クラスが練習よりも良いタイムをだしていた。その中で二組は一位を取ることができた。個人的な意見だけど、バトンパスの上手い人が多くいるようにみえた。自分の走る速さと、相手の走る速さをきちんと理解している人が大半なのかもしれない。代走の人以外、走順をほぼ変えなかったことが功を奏したのだと思う。そして、なんといっても大縄がすごかった。練習のときよりも回数を更新でき、最初の練習で二、三回しか連続で跳べなかったことが夢のように感じる。運動会当日は、周りが励まし合い、声を出し、とても良い空気で競技ができた。競技中はポジティブな気持ちで跳ぶことができ、二年二組の目標である、「一致団結」を体現していたと思う。運動会で最も印象に残った瞬間だった。

運動会、その練習、いろんな場面で前より仲良くなれた人がある。一緒に競技をして、結果発表で舞い上がって、とても良い思い出として心に刻まれた。火曜日からはいつも通りの生活に戻るけど、このクラスで良かったと思う運動会を終えた後なので、とてもすっきりとした気持ちで過ごせると思う。今日の運動会の経験を忘れることなく、日常生活を送り、新たな行事に取り組んでいきたい。

### 「運動会を終えて」

二年三組

僕は運動会を終えた今、とても良い運動会になったなと思いました。今年の運動会は、去年よりも学べることも増えました。それは、結果も大切だが過程もすごく大事だということです。

僕たち二年三組は、最初は全くと言っていいほど団結力が無く、女子は大縄で声を全然出さず、むしろ「やだ～！」と言っている人もいました。リレーも真面目に走っていないくて、テイクオーバーゾーンを歩いている人もいました。そんな僕たちですが、僕たちなりに一生懸命に練習に取り組みました。すると運動会当日ではリレーももちろんみんな頑張っていました、特に大縄では練習した成果がでました。今まで三十三回くらいしか跳べていなくて、本番もどうせ四十回くらいだと思っていたのですが、なんと三十三回の二倍である六十五回をたたき

出しました。ほとんどのクラスは百回以上に到達しているため、他のクラスからしたら僕たち三組の回数は大したことないかもしれませんが、この回数は、僕にとっては達成感が詰まったものなのです。そして、運動会後の帰りの学活のとき、山中先生の「三組は本番に強い」という言葉が嬉しくて、自信をもらえました。

僕は今年の運動会で、結果も大事だが過程が大事ということを学びました。この過程が大事ということを活かして、合唱祭や林間学校などの行事にもつなげていきたいです。

### 「運動会で学んだこと」

二年四組

私はこの運動会でチームワークの大切さを学びました。二年生の学年種目の大縄は、初めは全く飛べなくてすごく不安でした。四十人で心を合わせて縄を跳ぶのは難しくて、実行委員としてどんなアドバイスをすればいいかたくさん悩みました。全員リレーは足の速さが違う人が集まって一つのチームとして戦うので、色々な作戦を立てて良い結果に繋がるように頑張りました。運動会前日にクラスみんなで円陣を組んだ時に、明日、このクラスのリレーでバトンを渡すこと、声を出して大縄を跳ぶことが最後になるんだと思ったら、少し寂しく感じたけれど、それと同時にどんな結果でも最高の運動会にしたいなと思いました。

いよいよ迎えた運動会当日。緊張して迎えた開会式は何度も練習したはずなのに、いつもと違うように感じました。学年種目では、全員リレーで自己ベストのタイムを出すことができました。大縄でも今までよりずっと多い回数を跳ぶことができました。全員が集中して跳んでいて一つになっている気がして、今までで一番楽しかったです。最終結果は二位でしたが、悔しいよりも今までで一番良い結果で終わることができたので嬉しかったです。今回の運動会で私がすごく感じたことは、一人一人の頑張りで、学年種目で一位は取れなかったけれど、二位になることができたのは個人種目でみんなが一生懸命に頑張ったからだと思います。私は個人種目で審判の係をしていたのですが、一位や二位が四組で埋まっていることが多くて、みんな頑張っているから私も頑張ろうと思うことができました。それぞれ違う競技に出ているけれど同じ目標に向かってるのが伝わってきて、チームワークが感じられました。これからもこの運動会での経験を忘れずに今後活かしていきたいです。

### 「運動会で見つけたもの」

二年六組

私が運動会で見つけたこと。それは、いろんな人のいいところだ。例えば、クラスの友達だ。私が短距離走で走っているとき「がんばれ！」というたくさんの声が聞こえてきた。しかも、あまり話したことがない人も応援してくれているのが見えてすごく心が暖かくなった。応援席に戻ったときにも「おつかれ様！」と言ってくれる人がたくさんいて、いつでも励まし合えるのが二年六組のいいところだと改めて感じた。そして大縄。私たちのクラスはあまりいい順位とは言えなかったが、練習を始めた頃より何倍も記録が伸びていた。今まで頑張ってきたよかった、と思えた瞬間だった。4月から始まったクラスでこんなにも一つのことに集中して取り組んだことはなかったから、大変だったけどその分とてもやりがいがある種目だなと感じた。そして運動会では、同じクラスではない人のよさもみつけることができた。招集場所に向かうときに、「頑張ってるね！」と声をかけてくれた同じ部活の先輩。私が美化委員の仕事で椅子を拭いたときに「ありがとうございます。」と言ってくれたり、会釈してくれたりした名前も知らない違う学年の人。そんな、うれしくなる一言を、私もいろんな人に伝えるようにしたい。

私のクラスは総合順位が四位で少し悔しかったが、勝ち負けよりも大切なものがあると思う。運動会で成長したこと、学んだことを活かして、これからの行事もクラスみんなで協力して取り組みたい。

